



理事長主催勉強会

## 統合型材料開発の新展開

**講師：古山通久教授（九州大学）**

**題目：「統合型材料開発の視点**

**～トップダウン型基礎科学は可能か？」**

**日時：2016年7月25日（月）10：00-11：00**

**場所：並木地区Nano-GREEN/WPI-MANA棟**

**1 F Auditorium**

**主催：（国）物質・材料研究機構**



統合型材料開発プロジェクトの勉強会を開催いたします。ナノテクノロジーを活用により地球環境問題を抜本的に解決して持続可能な社会を構築するために、産学が連携して環境技術の基礎基盤的な研究開発を推進するための研究拠点をシステムとして構築する必要があります。最終システムとしてのイメージを明確にして、大学等研究機関の側から科学技術に基づいた提案が求められております。

今回の勉強会は、九州大学古山教授をお迎えし、システム化・デバイス化を意識した材料科学研究アプローチとして提案されている統合型材料開発の視点について講演していただきます。講演では、太陽光を出発としたエネルギーフローや蓄電デバイスなどを具体例としてシステム工学と材料科学のあり得る連携の姿について紹介いただきます。内外の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

理事長 橋本 和仁

世話人：エネルギー・環境材料研究拠点

拠点長 魚崎浩平

連絡先：運営室 GREEN@nims.go.jp

